

中国情報（W T O / F T A ・ 貿易 ・ 安全 ・ その他）

2007 年 8 月 1 日号

©2007年 6 月大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年 6 月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 全国の大豆は種面積は減少、主産地における干ばつは緩和

東北及び華北では 6 月末に降雨があり、大部分の地区で干ばつが緩和されたものの、内
蒙古自治区東部では依然として干ばつが続いている。6 月の主産地における大豆は三葉期
まで生長し、全体として良好な生長状況にある。

大豆の比較収益が減少していることを受け、2007年の中国の大豆は種面積は引き続き減
少している。国家統計局の調査によれば、今年 of 中国の大豆意向は種面積は、前年比 4. 6%
減の 1. 33 億畝（畝：ムー／1 畝＝15 分の 1 ヘクタール）となった。

2 1 ～ 5 月の中国の大豆及び大豆油輸入は増加、大豆粕輸出も増加

1 ～ 5 月の中国の大豆輸入量は、前年同期比 9. 1% 増の 1, 133. 5 万トンとなった。そのう
ち米国産の輸入は同 21. 1% 増、ブラジル産の輸入は同水準、アルゼンチン産の輸入は同
20. 2% 減となった。5 カ月間の中国の大豆輸出は、前年同期比 27. 2% 増の 21. 9 万トンとな
った。

また、1 ～ 5 月の大豆油輸入量は前年同期比 49. 6% 増の 105. 1 万トン、輸出量は 26. 2%
減の 2. 9 万トンとなった。同じく大豆粕輸出量は同 2. 3 倍の 33. 1 万トン、輸入量は 96. 3% 減
の 2. 1 万トンとなった。

3 上半期の国内外の大豆及び大豆油価格は高騰、大豆粕価格は大幅な揺れ

(1) 国際市場

主産国の大豆は種面積の減少と世界的な在庫減の影響を受け、2007年上半期の大豆及び大豆油の国際価格は、前年11月以降上昇を続けている。一方、上半期の大豆粕価格は、鳥インフルエンザ流行の影響により、大幅な揺れを示しながらも、全体としては上昇傾向にある。6月29日までの米国シカゴ取引所における大豆先物価格は、1トン当たり323ドルで、前月比8.5%高、前年同期比45.6%高、年初に比べ26.8%高となった。同じく大豆油は1トン当たり827.8ドルで、前月比5.0%高、前年同期比41.5%高、年初に比べ27.1%高となった。大豆粕は同263.2ドルで、前月比9.5%高、前年同期比35.9%、年初に比べ21.0%高となった。

(2) 国内市場

大豆及び大豆油の国際価格上昇の影響や、農家の手持ちの大豆が減少したことなどから、2007年初めから国内の大豆及び大豆油価格は上昇を続け、大豆粕価格は大幅な上下を示した。6月22日までの黒龍江省の搾油用大豆の買入価格は、1トン当たり2,972円で、前月比3.6%高、前年同期比28.3%高、年初に比べ21.6%高となった。山東省における四級大豆油の工場出荷価格は同7,900円で、前月比3.3%高、前年同期比54.9%高、年初に比べ8.6%高となった。同省における中等大豆粕の工場出荷価格は同2,338円で、前月比3.0%高、前年同期比11.1%高、年初に比べ9.8%高となった。

(3) 輸入大豆価格は国産大豆よりやや割高

6月下旬における山東省の輸入大豆の通関渡し価格は1トン当たり3,230円で、現地における国産大豆の仕入価格よりも、同110元前後高かった。